



# 金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行・編集 責任者：

般若慎一郎

85号に思う～金屋町通信は85号を数え、今号から8年目に入ります。皆様に支えられて今日まで来ましたが、編集長も高齢者と呼ばれる年齢になりそろそろ終い時を考えたりしております。引き継いでくれる人がいてくれればお願いします、そうでない場合には無理をすることなく休刊・もしくは廃刊にするのが妥当かと考えます。

切りのよいところで100号か、それとも10年の120号か、などと思うところです。



## 火野正平さんが こころ旅で有磯神社に

俳優の火野正平さんが日本列島を自転車で縦断するNHK衛星放送の人気番組「こころ旅」が高岡市を訪れ、有磯神社に寄っていきました。大きな猿のこしかけと蛙石が紹介されていましたが、猿のこしかけは自分にとって新発見でした。皆さんは知っていましたか？



こしかけに座って猿真似をする火野さん



合い「まちを話せる人づくり」をしようという趣旨で、第1回を「土蔵造りのある山町筋編」として土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会会長の作井宗人さんが講師を務めました。

会には30名余が参加しましたが、そのうち約半数は金屋町住民でした。

## 愛称募集～金屋町元気プロジェクト

金屋町へ移住を考える人のための居住体験施設を旧夏野家で整備し、9月の楽市には一部試行して来年4月にオープンする見込みですが、その愛称を募集します。例えば「いもじの家」「金屋ハウス」など、色々お寄せください。

白紙に居住体験施設愛称案「〇〇〇〇」氏名・住所を書き、鋳物資料館郵便受けに入れてください（FAX可）。採用案には記念品を差し上げたいので、氏名をお忘れなく。応募は1人何口でもOK、町外の方の応募も歓迎します。7月末までお願いします。

## 高岡のまちの歴史おさらい会 土蔵造りのある山町筋編

4月22日、金屋町公民館において高岡ひと・まち交流会が首題の講演会を開催しました。

高岡ひと・まち交流会は、山町筋・坂下町・下関校下・瑞龍寺・金屋町のまちづくり団体で構成していますが、お互いの地域の歴史を学び

## 茨城県桜川市真壁 全伝協総会

第39回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会で、茨城県桜川市真壁へ行って来ました。



長屋門があちこちに

真壁は中世に真壁一族が支配したが、400年前に浅野家に代わり、その頃の町割が今も残っている。登録文化財がかって104棟あり、日本一多かった（現在は3位）。重伝建地区に選定されているが、町なみに伝建物件の連続性が無く、文化財が点在しているのが一つの特徴です。立派な長屋門を有する農家や、立派な薬医門のある商家が数多く点在するのも特徴です。



屋根が高い伝統家屋

母屋は現代建築に建て替えられているが、立派な門や土蔵だけが保存されている例が多い。伝統的な母屋は2階の大屋根がとても高く、普通の3階建てぐらいの高さがあります。おそらくこの地域では大きくて立派な門と屋根の高い母屋・土蔵がステイタスだったと想像されます。

重伝建選定のわずか半年後に東日本大震災が起き、壊滅的とも言える被害を受けて、今も復旧工事中の建物があちこちにありま。真壁は伝建地区外にも登録文化財の建物が多く点在するのですが、町が歴史町づくり法の認定を受けていたことから、伝建地区外の文化財の復旧にも手厚い援助を受けることが出来たそうです。

### 真壁には路線バスが無い

真壁は最寄のJR駅から車で約20分ですが、路線バスが無いという不便さです。昔は筑波鉄道があったけど約30年前に廃線になったそうです。

記念講演の締めくくりに河東教授から「真壁の観光は全国区でなくてよい。桜川市民、あるいは北関東地域の住民が反復訪問してくれるような、狭い範囲の観光地になればよい」という言葉を聞いて、そういう考え方は有りだなと思いました。

### 創業800年の小田部鋳造

町外れに「小田部鋳造」という創業800年で、関東で唯一の梵鐘メーカーがあると聞き、帰り際に大急ぎで立ち寄ってききましたが、なんと当主は高岡短大で鋳金を学んだそうです。

次年度の総会は大分県日田市（ひたし）豆田町になります。



創業800年

小田部鋳造株式会社

### 5月の金屋町自治会拡大会議要点

- ・金屋町各事業団体（消雪組合、公民館、弥栄節保存会、御印祭実行委員会）の事業報告と事業計画提案。
- ・その他：10月22日は高岡市議会議員選挙です。